

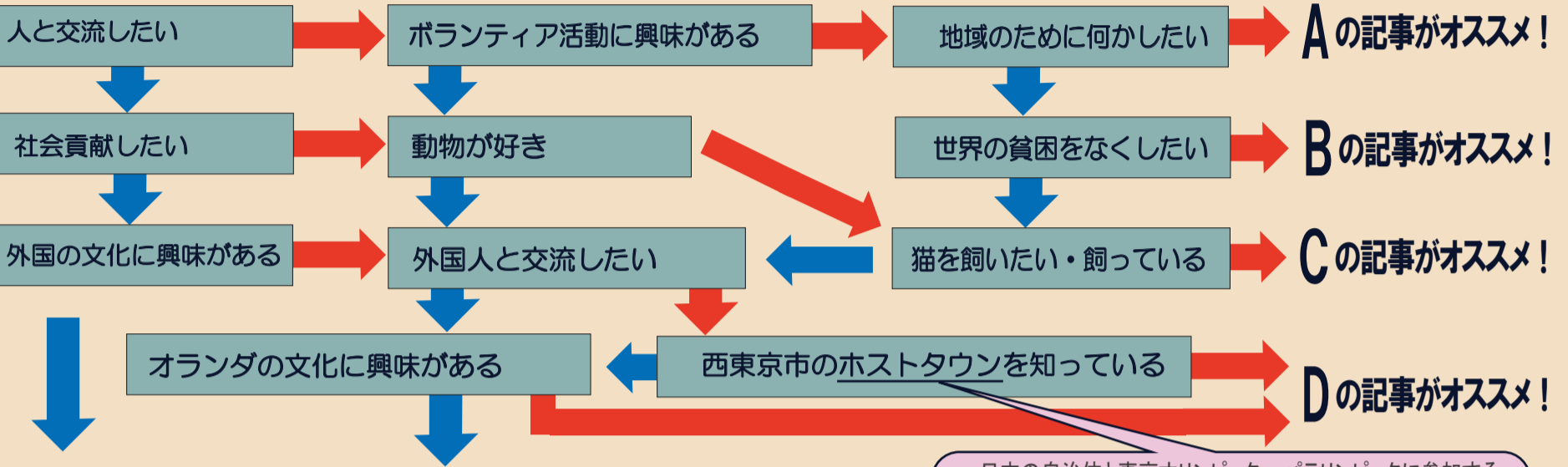
SDGsから考える！今の私たちにできること

SDGsとは「Sustainable Development Goals(持続可能な開発目標)」の略称で、国連で採択された2030年までに達成すべき国際目標です！17の目標と169のターゲットで構成されています。

この記事は、西東京市環境保全課と協働で石神井川の清掃活動などの取組を行っている、都立保谷高校国際交流部が作成しました。

年齢は関係ありません。できることを探してみましょう！

YES → NO →



日本の自治体と東京オリンピック・パラリンピックに参加する国・地域の住民等が、スポーツ、文化、経済などで交流することを通じて、地域の活性化等に活かしていく取組です。

Aの記事から順に読んでみましょう！気になる記事が見つかるかも!!

フローチャートを元に下の記事を読みましょう！ 保谷高校国際交流部の活動をご紹介します！

A 「海の豊かさを守ろう」

私たち国際交流部はMeC西東京さんと協力して石神井川の清掃を行っています。ゴールとして虫が住めるような環境にしようとしていますが、まだ石神井川にはゴミが溢れています。皆さんは「西東京市をきれいにするための小さな気遣い」をどれだけできていますか？見て見ぬふりをして他人事としていませんか？川清掃を続けていくうちに「住み続けられるまち」をつくるためには私達高校生だけでは力不足だと感じました。これを見て、少しでも川のことを気にしてもらえたらうれしいです。



B 「すべての人に健康と福祉を」

皆さんよくペットボトルの飲み物を買うと思います。ペットボトルキャップを集めて再資源化事業者へ売却すると、その収益により世界の子供たちにワクチンが届けられます。保谷高校でもよく自販機でペットボトルの飲み物を買っている人を見て、そのキャップを集めたらかなりの量になると思い、ペットボトルキャップ回収ボックスを作りました。



C 「陸の豊かさも守ろう」

私たちはエコプラザで開催された保護猫譲渡会に参加し、保護猫団体がどのような活動をしているのか、また地域猫との関わり方、動物の終身飼育の責任と大切さなど様々な事を学びました。また、学校に迷い込んできたハムスターを保護して新しい飼い主さんを見つけました！1匹でも殺処分される猫の数を減らすため「猫と人をつなげる」活動を中心に行っていこうと思います。私たち人間のエゴで動物たちの幸せを奪ってはいけない、自分たちが飼っているペットを含め、動物たちの幸せと命について再認識するべきだと思いました。

D 「パートナーシップで目標を達成しよう」

西東京市は東京オリンピック・パラリンピックに向けてオランダのホストタウンに指定されています。それらを活かすためにも保谷高校国際交流部では昨年オランダの高校であるGroevnbee kと交流をしています。主な交流内容

- メールでの近況報告
- 互いの国の伝統文化の一例を実物をもって送り合う
- 花の種の交換（日本側からはコスモスを送りました）
- SDGs 目標達成に向けての活動報告

ごみの問題や保護猫活動など私たちの意識と決意があれば解決する問題ばかり溢れている世の中、できることは自分自身でやるという思いを胸にコロナと闘って行きましょう！

作成：東京都立保谷高等学校 国際交流部
 校正：西東京市みどり環境部環境保全課
 Tel : 042 - 438 -4042 mail : kankyou@city.nishitokyo.lg.jp